

令和2年度動物愛護週間ポスターのデザイン絵画コンクール受賞作品

○最優秀作品（環境大臣賞）今年度動物愛護週間ポスターに使用



田中 悠 さん（東京都在住）

◆作品に関するコメント

オーストラリアで発生した森林火災では火傷を負ったコアラが記憶に新しく、実に113種類の動物が危機に瀕していると聞きます。災害があつてからではなく、地球に暮らす多様な生物の一員として普段から共存を意識できる様な世界を想像しました。まるで命の混ざり合う卵の形で割れない様ワラをしています。火災を風化させない為にも、主にオーストラリアにいる動物を描きました。

○優秀作品（動物愛護週間中央行事実行委員会委員長賞）※50音順



池田 虎吉さん（宮崎県在住）

◆作品に関するコメント

ぼくの家には飼い主にすてられて殺処分されそうになった動物をたくさん飼っています。ぼくが引き取っても保健所には次々と保護されてきます。これ以上悲しい子達が増えないようそんな気持ちで書きました。



井上 きりこさん（東京都在住）

◆作品に関するコメント

人間にとってかけがえのない存在である動物を人間が責任を持って正しく取扱い、支え合うことで、人も動物も幸せに暮らすことができるのではないかと思います。このポスターを描きました。



藤後 智明さん（鹿児島県在住）

◆作品に関するコメント

共につくる社会のイメージとして積み木を使って、人と動物がよりよい町をつくっている様子を表現しました。